

## 分科会開催報告書

報告日 平成 28年 3月 30日	報告者 田中徳明																														
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第98回浮雲俳句会例会																														
開催日時 平成28年 3月 27日 午前 9:30~11:50	開催場所 能見台地区センター多目的室B																														
参加人数 “わ”の会会員 男 12名 女 5名 合計 17名 欠席者 1名																															
<p>実施内容</p> <p>第98回例会の出句は兼題 ①大島（伊豆） ②仲春の天文 と当季雑詠2句の計4句。 句会は、大川一馬会員による添削披露及び長島和女会員による選句の披講の後、北野主宰から天・地・人賞及び特選5句並びに佳作6句の発表と、夫々の句についての論評があった。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">天賞句</td> <td style="width: 65%;">大島の流人なぐさむ藪椿</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">重 九</td> </tr> <tr> <td>地賞句</td> <td>三溪園春景しかと定まれり</td> <td style="text-align: right;">一 馬</td> </tr> <tr> <td>人賞句</td> <td>指先のまろき水音春の間</td> <td style="text-align: right;">和 女</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特選句</td> <td>涅槃西風牛人町を眠らせて</td> <td style="text-align: right;">あきえ</td> </tr> <tr> <td>待ちわびし船の上なる朧月</td> <td style="text-align: right;">一 祝</td> </tr> <tr> <td>春光の溢るる空へ縄梯子</td> <td style="text-align: right;">十 九</td> </tr> <tr> <td>風船を風に持たせて追ふ児かな</td> <td style="text-align: right;">とも女</td> </tr> <tr> <td></td> <td>古本の紙の匂ひや春の間</td> <td style="text-align: right;">勇 平</td> </tr> </table> <p>主宰の指導 ①今回も兼題の季語に不適切なものがあつた。最適季語の使用に一層の注意を。 ②句に詠み込む情景についても、香り高いもの、歴史の色合いを含むものなど、より高度の措辞の選択を心掛けてほしい。</p> <p>会員選高点句</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">9点句</td> <td style="width: 65%;">赤い靴履いて白寿の青き踏む</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">十 九</td> </tr> <tr> <td>8点句</td> <td>風船を風に持たせて追ふ児かな</td> <td style="text-align: right;">とも女</td> </tr> <tr> <td>7点句</td> <td>天神の絵馬持ち上げし春一番</td> <td style="text-align: right;">あきえ</td> </tr> </table> <p>次回の予定 平成28年4月24日（日）午前 9時30分～午後0時 金沢地区センター 第99回例会 兼題①天草 ②地理（晩春） 披講 とも女</p> <p>その他 ○これからは特選句について作者は300字以内のコメントを小俣会員に送ること ○今後金沢句会に重点をおく方向にソフトランディングして行くこと などの示唆あり ○「十年の歩み」制作関連収支の決算報告が承認された ○根本好童会員の健康上の理由による退会の報告あり</p>		天賞句	大島の流人なぐさむ藪椿	重 九	地賞句	三溪園春景しかと定まれり	一 馬	人賞句	指先のまろき水音春の間	和 女	特選句	涅槃西風牛人町を眠らせて	あきえ	待ちわびし船の上なる朧月	一 祝	春光の溢るる空へ縄梯子	十 九	風船を風に持たせて追ふ児かな	とも女		古本の紙の匂ひや春の間	勇 平	9点句	赤い靴履いて白寿の青き踏む	十 九	8点句	風船を風に持たせて追ふ児かな	とも女	7点句	天神の絵馬持ち上げし春一番	あきえ
天賞句	大島の流人なぐさむ藪椿	重 九																													
地賞句	三溪園春景しかと定まれり	一 馬																													
人賞句	指先のまろき水音春の間	和 女																													
特選句	涅槃西風牛人町を眠らせて	あきえ																													
	待ちわびし船の上なる朧月	一 祝																													
	春光の溢るる空へ縄梯子	十 九																													
	風船を風に持たせて追ふ児かな	とも女																													
	古本の紙の匂ひや春の間	勇 平																													
9点句	赤い靴履いて白寿の青き踏む	十 九																													
8点句	風船を風に持たせて追ふ児かな	とも女																													
7点句	天神の絵馬持ち上げし春一番	あきえ																													